

久しぶりに個別フォローで話を聞いてもらいました。

もっとオラオラした感じを出す(語弊があるが)というのがある意味今年の目標となりそうです。

今年の目標を先日のコーチング練習会スペシャル回で目標について話したときに、話したもののは自分でも結構条件を縛りすぎているのではないか、としつくりこない部分があったのでそれについて追加で話をしたく、それをメインとした話を最初にしました。

たしかに陽子さんはこれはこうなのです、と言ったら「はい」と聞き入れちゃいたくなる雰囲気を持っているし、私は持っていない自覚だけはある。それと関連して、私は思うことが結構強くあっても全然強く思っていないように聞こえる(過日のコーチング練習会の高市氏総理大臣就任の話も然り)。どうしたら出せるのか、と思ったが、具体例を交えてもらいながら話をしてもらった。例えば私は後輩に対して強く言えないけれど、私は目標を達しているけど後輩は目標を達していない。これに対して「結果を出さないものに人権はない」とはっきりと言ってくれて、**こう言わないと私は強く出れないのか**、という自分に対する残念感はあるけれども、言葉にしないものの思っていた感覚と同じことを言われて背中を押されたような気分になった。私も自由勝手(?)に仕事をするために頑張って結果を出しているので。私の方が相手を否定するわけじゃないけれども、仕事について否定することと存在意義を否定することを頭の中でごちゃごちゃに捉えてしまっているんじゃないかな、と感じた。

正月の陽子さんの社内トラブルの例を引き合いに、同じことを言う/するにしても誰が言うか次第で相手の反応が変わる話を伺って、自分にも身に覚えがあるし、やっぱり言うからには聞き入れてほしいなと思う次第ではあるのだ。現在職場では割と聞き入れてもらってる気はするけれども、私がその立場について逃げ腰になっているところがあって、そこについてちゃんと向き合うというか自分の立場をはっきりさせることができ第一歩だと思った。私がスタンスを決めて全ての人に対して同じようにやっても良いし、人によって変えても良い、というふうに幅を持たせてもらったので、言い方のバリエーションを増やせるように1年かけて頑張っていこうと思う。いろんな話も含めてありがとうございました。

(30代女性 千葉県)